



ゆり組だより2月号



令和6年2月20日 こり保育園 担当:鈴木

寒い日が続いていますが、ひんやりとした空気を肌で感じたり、口く息の白さを楽しんでリリながら季節を感じて過ごしています。

先日はお忙しい中、保育参観にご出席いただき、ありがとうございます。保護者の方と相談しながら一文字ずつ丁寧に文集を書く姿に成長を感じたひと時でした。

朝から雪予報だった日のことです。

登園時から「今日雪降るから寒いんだよ」とお友だちに知らせながら窓の外を長にしている子がいました。空が暗くなりホッホッと雨が降り出すとガッカリ。しかしおやつ時雪に変わると「雪だあー!」「やったー」「見たい見たい!!」「外寒そう」と一斉に窓に集まりみんなで大喜び。残念ながら雪遊びは出来ませんでした。冬の自然を身近に感じ、喜び姿を見て、大人になると忘れてしまう雪の楽しさを思い出させてもらいました。



ある日のことです。

卒園式に向けて歌の練習をするといつもは元気いっぱいの子が俯いていました。「どうしたの?」と声を掛けると今にもこぼれそうな涙をワッとこらえて「ちっと寂しい」と...小学生になるワクワクした気持ちと同時に、保育園やお友だちと離れる寂しさもあるようです。

保育園生活も残り1ヶ月。

1日、1日を大切に過ごしていきたいです。

